



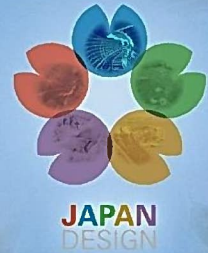
人・街・自然・いきいき

中日本建設コンサルタント株式会社

私たちは、国土の未来をデザインする
創造型建設コンサルタントです。

私たちは、半世紀にわたる実績と経験、幅広い技術領域を背景に、
国土の未来をデザインする建設コンサルタントを目指します。

© JAPAN DESIGN



～高解像度カメラによる疑似3D空間を利用した調査・点検の高度化～

当社では、3Dスキャナーで作成した疑似3D空間と施設管理データベースを融合し、効率的なメン
テナンスサイクルの構築と維持管理の高度化を推進します。

事例紹介

雨水滞水池の調査事例

●<高解像度カメラによる疑似3D空間>

手法: 躯体への活用事例では、目視による調査・点検が困難な高所に
対し、高解像度カメラを搭載したドローンでの撮影を行い、取得
した画像データを疑似3D空間内に登録してある撮影対象部材と
紐づけて管理する仕組みを構築

活用効果:

通常は内部に入ることのできない調整池などを疑似3D空間化す
ることで、机上で内部空間が把握できる干渉チェック、施工計画等
「設計の可視化・品質の向上」



1	A	B	C	D	E	F	G
2	設備台帳 (サンプル)						
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							

処理施設の台帳システムへの活用事例

●<三次元モデルに施設情報等を付与した設備台帳>

手法: 設計業務等で作成した3次元モデルに施設管理データベー
スを連携することで、設備診断結果や維持管理履歴、劣化に伴う
施設変状図等を紐づけて管理

活用効果: 調査・点検情報、機能診断結果を蓄積し、メンテナンス
サイクルを構築することで機能維持を向上

